

債券・為替 ウィークリーレポート



カナダ



ブラジル



メキシコ



オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー


















南アフリカ



インドネシア


















インド

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		2/2 （1/26との比較）	2/2 （1/26との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方向性 （※6）	方向性 （※7）		
カナダ 	AAA	2.36% （+0.10）	88.64円 （+0.54%）	+3.0% 2017年3Q	1.25%	NAFTA（北米自由貿易協定）第6回再交渉は特段進展もなく終了。トルドー首相はNAFTAの離脱も辞さない姿勢を示唆。市場予想を上回る製造業PMIを受けて、カナダドルは対円で上昇。国債利回りは上昇。	雇用統計や住宅着工件数などの発表を予定。前回値とほぼ横ばいである結果が示されると予想。NAFTA再交渉や米国の金融政策、原油価格の動向にも引き続き注目。
	Aaa	 金利横ばい	 景気拡大	 景気回復	 利上げ局面		
ブラジル 	BB-	9.14% （+0.21）	34.23円 （▲0.69%）	+1.4% 2017年3Q	7.00%	自動車生産の増加から鉱工業生産は市場予想を上回る結果。中銀の利下げ観測の高まりや貿易収支の改善が一服した様子から、レアルは対円で下落。国債利回りは上昇。	政策金利などの発表を予定。今回で利下げサイクルの打ち止めを見込んでいるが、インフレ率の伸び悩みから追加利下げの可能性が否定できず、追加利下げとなれば、レアルは一段安。引き続き年金改革にも注目。
	Ba2	 金利低下	 金利低下	 景気回復	 利下げ局面		
メキシコ 	A-	7.45% （▲0.01）	5.92円 （+0.85%）	+1.8% 2017年4Q	7.25%	NAFTA再交渉は特に進展がなかったものの、第4四半期GDP（国内総生産）が市場予想を上回ったことや堅調な製造業PMIの結果を受け、ペソは対円で上昇。国債利回りは小幅下落。	CPIや政策金利などの発表を予定。ペソ安に伴うインフレ率が上昇していることから市場では利上げを予想。鉱工業生産は引き続きNAFTA再交渉の進展や大統領選の動向に注意が必要。
	A3	 金利上昇	 金利低下	 景気安定	 利上げ局面		

（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

- ※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。
- ※2 国債利回りを表示（カナダ：10年、ブラジル：4年、メキシコ：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。
- ※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
- ※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。
- ※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。
- ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。
- ※政策金利については、カナダ：翌日物貸出金利、ブラジル：Selicレート、メキシコ：翌日物金利を表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		2/2 （1/26との比較）	2/2 （1/26との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方向性 （※6）	方向性 （※7）		
オーストラリア 	AAA	2.83% （▲0.02）	87.37円 （▲0.78%）	+2.8% 2017年3Q	1.50%	中国の製造業PMIは市場予想を下回る結果。また、CPIは中銀が目標としている2%を下回る結果となったことが嫌気され、豪ドルは対円で下落。国債利回りは上昇。	小売売上高や政策金利などの発表を予定。夏休み明けで、中銀総裁の講演や、四半期金融政策報告書の公表など、今後の中銀の指針が示されるイベントが多いため、債券・為替市場は注意が必要。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 利上げ局面		
ニュージーランド 	AA+	2.95% （+0.05%）	80.42円 （+0.67%）	+2.7% 2017年3Q	1.75%	貿易収支は市場予想に反し、黒字に転換した一方、住宅建設許可は前月に大幅増加した反動もあり減少するなど経済指標はまちまちな展開。ニュージーランドドルは対円で上昇。国債利回りは上昇。	中銀の金融政策決定会合を予定。景気に頭打ち感がみられ、直近発表されたインフレ率も低水準にとどまっていることから、政策金利は1.75%で据え置かれる見込み。今後の景気を占う上で失業率などにも注目。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 据え置き局面		
ノルウェー 	AAA	1.89% （+0.09）	14.55円 （+3.01%）	+3.2% 2017年3Q	0.50%	小売売上高は、前月に大幅に増加した反動もあり減少。他方、製造業PMIは好調に推移しており、景気拡大局面が続いていることを確認する内容に。ノルウェークローネは対円で上昇。国債利回りは上昇。	GDPなどの発表を予定。引き続き景気拡大局面が続いていることを確認する内容となる見込み。今後の金融政策への影響を考えるうえで、発表されるインフレ率が上昇するかが注目材料。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 利上げ局面		

（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。

※2 10年国債利回りを表示。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。

※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
















※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。

※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。

※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。

※政策金利については、オーストラリア：キャッシュレート、ニュージーランド：オフィシャル・キャッシュレート、ノルウェー：デポジットレートを表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		2/2 (1/26との比較) 今後の見通し (※4)	2/2 (1/26との比較) 今後の見通し (※5)	前年比 (※3) 景気の方向性 (※6)	先週末 方向性 (※7)		
南アフリカ 	BB+	7.78% (+0.04)	9.11円 (▲0.47%)	+0.8% 2017年3Q	6.75%	製造業PMIは市場予想を上回る結果。南アフリカ電力公社（Eskom）の中間決算が発表され、34%の減益となったことを受け、財政悪化の懸念が強まり、ランドは対円で下落。国債利回りは上昇。	企業景況感などの発表を予定。足元は、大統領の進退問題など政治動向に左右されやすい相場展開。長期的には財政難など山積みした課題への政府の対応に注目集まると想定。
	Baa3	 金利横ばい	 金利横ばい	 景気停滞	 利下げ局面		
インドネシア 	BBB-	5.81% (+0.09%)	0.82円 (+0.01%)	+5.1% 2017年3Q	4.25%	製造業PMIは前月から改善。CPI及びコアCPIの前年比伸び率は鈍化。また、30日の国債入札も堅調な結果。しかし、欧米主要国での金利上昇の影響を受け、国債利回りは上昇。ルピアは対円で上昇。	外貨準備高やGDPなどの発表を予定。欧米主要国での金利上昇への警戒感が強まる中、国債利回りは上昇しやすい地合いを予想。ルピアは引き続き底堅く推移する見込み。
	Baa3	 金利上昇	 金利上昇	 景気拡大	 利下げ局面		
インド 	BBB-	7.51% (+0.21)	1.72円 (+0.61%)	+6.3% 2017年3Q	6.00%	公表された予算案では、2018年度の財政目標が中期計画より赤字拡大方向へ修正されたことが示された。市場予想を下回る製造業PMIなどが嫌気され、国債利回りは上昇。ルピーは対円で上昇。	政策金利などの発表を予定。市場では据え置きを予想。債券・為替市場は海外からの影響を受けやすいものの、国内の安定した成長から底堅い展開を想定。引き続き原油価格などの動向にも注目。
	Baa2	 金利横ばい	 金利横ばい	 景気回復	 据え置き局面		

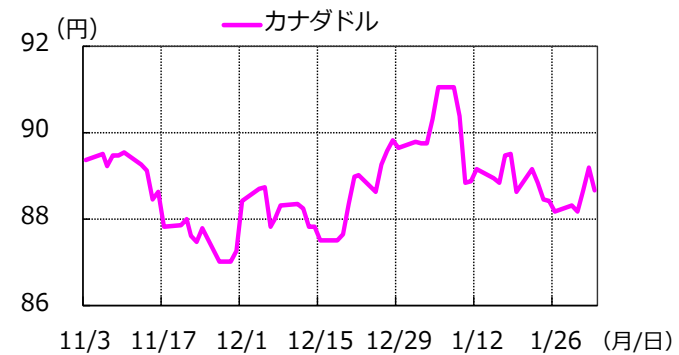
（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

- ※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる本国通貨建て長期債格付を表示。
- ※2 国債利回りを表示（南アフリカ：5年、インドネシア：5年、インド：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。
- ※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
- ※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。
- ※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。
- ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。
- ※政策金利については、南アフリカ：レポレート、インドネシア：7日物リバースレポ金利、インド：レポレートを表示。

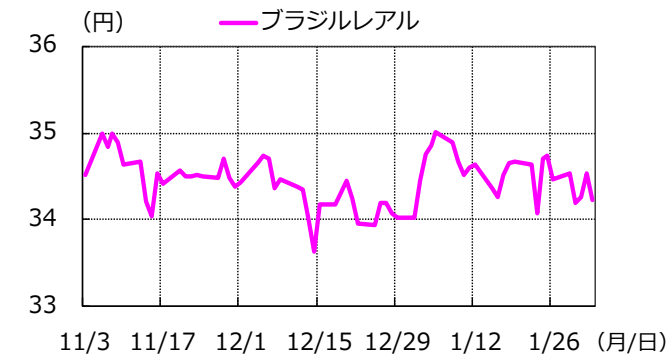
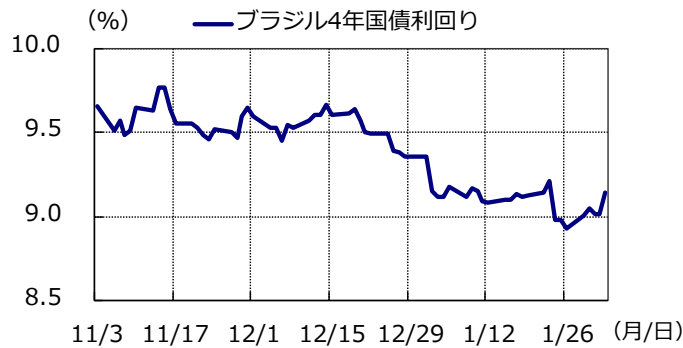
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2017/11/3～2018/2/2

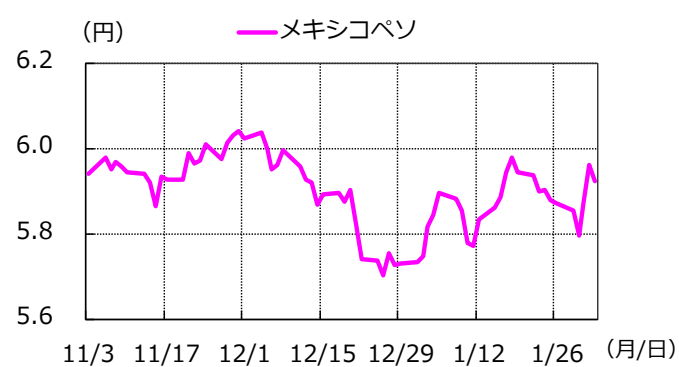
カナダ



ブラジル



メキシコ

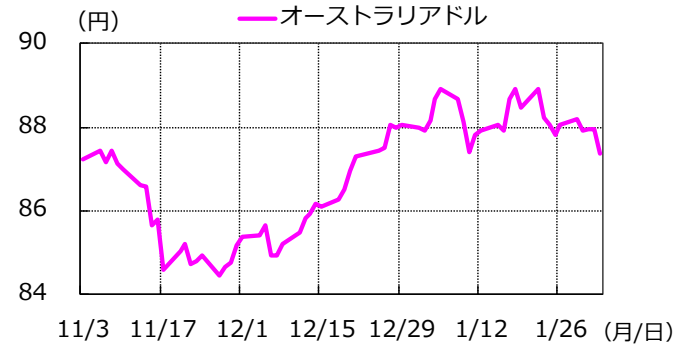


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

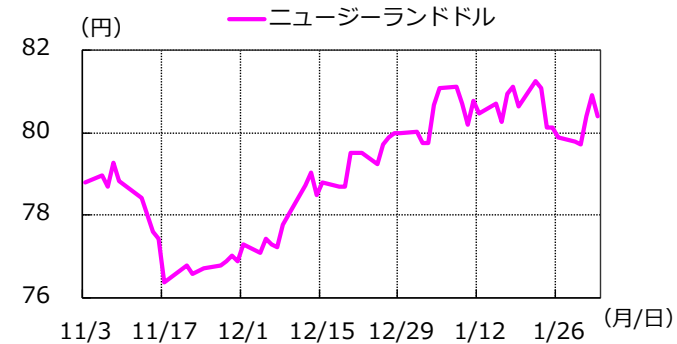
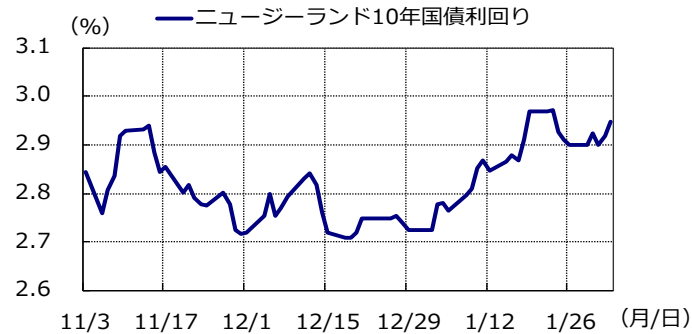
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2017/11/3～2018/2/2

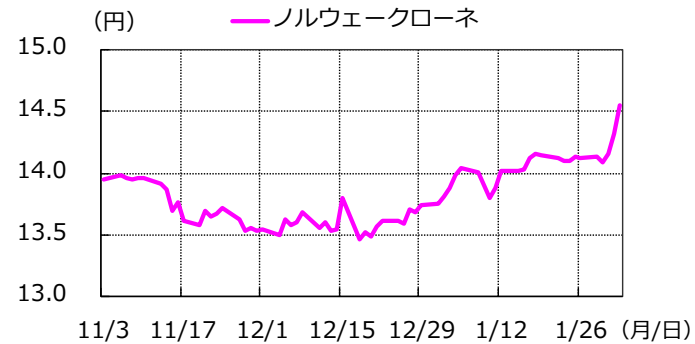
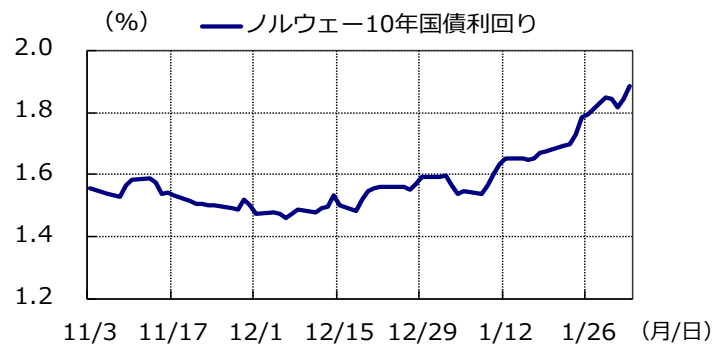
オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー

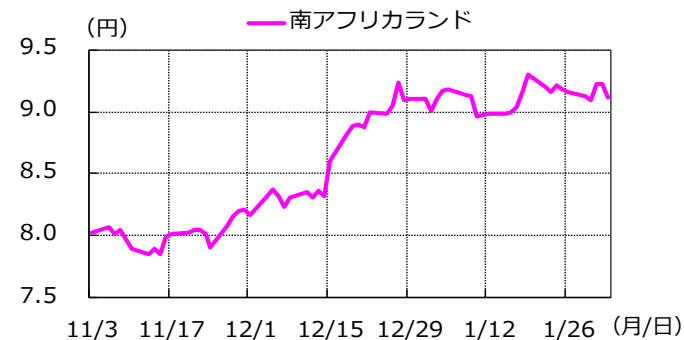


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

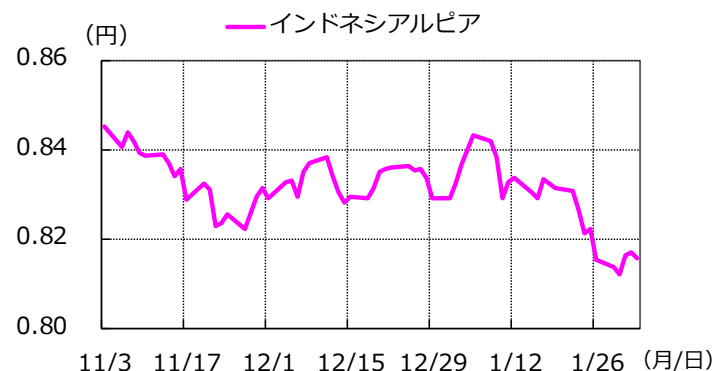
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2017/11/3～2018/2/2

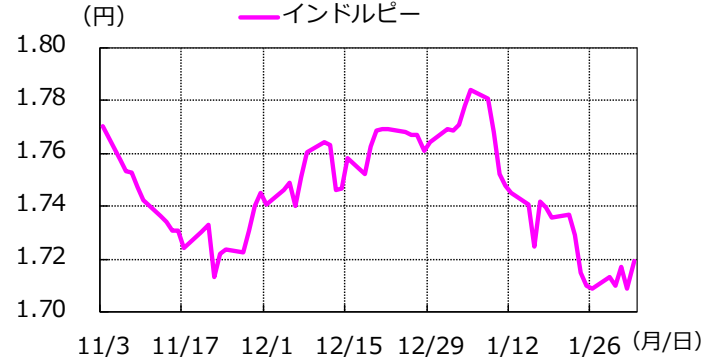
南アフリカ



インドネシア



インド



※インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。 ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項

【投資信託に係るリスクと費用】

● 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券および不動産投資信託証券（リート）などの値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります。）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

● 投資信託に係る費用について

[ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。]

■ お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料：上限3.78%（税込）

換金時手数料：換金の価額の水準等により変動する場合がありますため、あらかじめ上限の料率等を示すことができません。

信託財産留保額：上限0.5%

■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）：上限 年率2.6824%（税込）

※上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

その他費用・手数料：上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）等でご確認ください。その他費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用（上限額等を含む）を表示することはできません。

※手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。

※上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、アセットマネジメントOne株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国が異なることから、リスクの内容や性質、費用が異なります。投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。

※税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

【ご注意事項】

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。

● 当資料は、情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

● 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

● 投資信託は、

1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象ではありません。

2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。

3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。